

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館
2018 年 5 月 1 日
5 月号 (隔月発行)
Vol. 5

すっかり暖くなり、日中には夏の日差しを感じるようになってきましたね。ゴールデンウィークの予定はもうお決まりですか？龍華図書館には様々な観光地のガイドブックがあるので、今から予定を立てる人は是非参考にしてくださいね！

さて、今回の「図書館でめぐる郷土」では、八尾に縁のある作家、今東光をご紹介します。若き日の東光の生活は苦闘に満ちたものでしたが、小説『お吟さま』で直木賞を受賞し、文壇にカムバックした後は、数々のヒット作を残しました。郷土資料のコーナーには今東光の作品が数多くありますので、今まで読んだことがないという人も、ぜひ東光の世界にふれてみてください。

シリーズ 図書館でめぐる郷土

こん とうこう 第五回 『今 東光』

今東光は、特命住職として八尾市中野(現在の西山本町)の天台院に移り住み、昭和 26(1951)年から 24 年間にこの地に暮らしていました。

東光が二十二歳の頃、作家として師と仰ぐ谷崎潤一郎や、後に生涯の友となる川端康成らと出会い、同人として『新思潮』を発刊しました。その後、依頼を受け『新潮』で発表した作品が菊池寛から好評を得て、新雑誌『文藝春秋』にも参加することになります。その後、新進作家達の『文藝時代』創刊に参加し、新感覚派文学運動の作家としての地位を得ました。しかし、後に菊池寛らと激しく対立し、袂を分かつことになった東光は、『文藝時代』も脱退してしまいます。

そんな中、先輩作家として親しんでいた芥川龍之介の自殺があり、衝撃を受けた東光は、芥川の死後から三年が経過した昭和 5(1930)年に出家を決意。しかし、僧侶では暮らしが成り立たず、出家後も小説や評論、随筆などを書き続ける日々を送っていました。そして昭和 32(1957)年、小説『お吟さま』でついに直木賞を受賞。「奇跡のカムバック」と言われました。その後は『悪名』『こつまなんきん』『河内風土記』など、河内人の気質や人情を題材にした一連の「河内もの」を立て続けに発表し、舞台化、映画化も相次ぎました。

八尾図書館には今東光資料館が併設されており、企画展示も定期的に行われています。9 月 9 日(日)まで春季企画展「東光の舌～そして、河内の味の虜になった～」を開催しています。是非、足を運んでみてください。

また、デジタルアーカイブシステム ADEAC(アダック)では、「今東光の『小説 河内風土記』を歩く―河内山本・天台院周辺 MAP―」が公開されています。ADEAC とは、パソコンやタブレット端末から郷土資料などのデジタルアーカイブの検索、閲覧を行うことが出来るインターネット上のサイトです。『小説 河内風土記』には八尾を舞台にした物語が多数収められていますが、まちあるきマップでは、小説に出てくる八尾の今と昔の姿を見比べることも出来ます。この地図を片手に、東光が当時見て歩いた景色を、皆様にも感じて頂ければ幸いです。



龍華図書館所蔵 参考資料

『今東光の横顔～生誕百十年に寄せて～』 2008 年 9 月 今東光を語る会
『Wao!Yao!八尾の入り口』 2013 年 3 月 八尾市魅力満載 BOOK 制作委会
ADEAC「今東光の『小説 河内風土記』を歩く―河内山本・天台院周辺 MAP―」

【上図】ADEAC「今東光の『小説 河内風土記』を歩く―河内山本・天台院周辺 MAP―」

5 月の Topics&Information



-Topics



この本のおうちはどこですか？

八尾市内の図書館で貸出された本は、八尾市内のどの図書館でも返却が可能です。カウンターで返却したときに「これは〇〇図書館の本ですね」と言われて、不思議に思ったことはありませんか？実は本には「これは〇〇図書館のもの」と一目でわかるポイントがあります。それは本に貼ってあるバーコードと、背表紙に貼っているシール(背ラベル)の色です。どこの図書館のものかだけでなく、児童書か一般書かも色分けされています。

龍華図書館のバーコードは、一般書が紫、児童書が赤です。八尾は黄緑とオレンジ、山本は灰色と茶色、志紀は水色とピンク、移動図書館は青と黒と決まっています。このバーコードは「IC タグ」と一体になっており、これを読み取ることで貸出・返却、本の特定ができるようになっています。カウンターや自動貸出機で本を積み上げたまま貸出ができるのも、この IC タグを機械が瞬時に読み込んでいるからなのです。

自動貸出機の使い方や貸出の仕組みは、5/19(土)の「大人の図書館ツアー」でも詳しく説明しますので、ご興味のある方は是非ご参加ください！



-Information 講座のご案内

みんなで楽しむ日本の神話

- 日時… 2018 年 5 月 20 日(日)
- 時間… 14 時～15 時 30 分
- 場所… 龍華コミセン 3 階 集会室
- 対象… 小学生から
- 定員… 50 人



神話を知れば、地理も歴史もさらに楽しめます。

詳しい知識がなくても大丈夫！

入門なので、気軽に神話を学びましょう！



『神々の系譜 日本神話の謎』

松前 健/著
吉川弘文館/出版

日本神話はいくつもの伝承から成っている。それらはいつ、どこに生まれ、どのように組み込まれたのか。比較神話学・民俗学・歴史学の成果を踏まえ、「国生み」「黄泉国」「出雲」などのテーマを多面的に分析し真相に迫る。

【TRCマークより】

今月の一冊はコレ！

「世界 5000 年の名建築」

二階 幸恵/文 中川 武/監修



「どこかに行きたい！でも時間がない！」…そんなときは本で旅行にでかけませんか？サグラダ・ファミリアなど有名な建築物から、世界各国のあまり知られていない建築物まで、美しい写真と分かりやすい解説とともに、建設された年代順に紹介しています。建てられた場所や建材の歴史、設計者や建築用語解説も載っていますので、建築学や歴史の勉強としても使えます。

さあこの本で、世界一周旅行に出かけましょう！

発行・編集

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45

TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057

ホームページ <http://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね！してください。

